

大地震のとき、火災から あなたの家族と住まいを守る

日東工業の 感震ブレーカー

新築・リフォームや分電盤の交換をご検討中の皆様へ
東京都を含め補助制度を拡充する自治体が増えています。

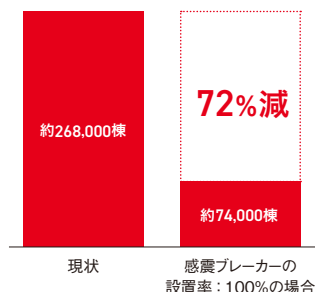
大地震の本当の恐ろしさは「火災」。
電気火災を防ぐことが命と住まいを守る鍵です。

東日本大震災の地震火災の原因
(出火原因が確認されたもの)

今後30年以内に高い確率で起きるとされる「首都直下地震(70%)」や「南海トラフ巨大地震(70~80%)」。大規模な停電が発生した後、復旧時に損傷した配線や電気器具から出火する「通電火災」が、命と住まいを脅かします。
阪神・淡路や東日本など、過去の大震災におけるデータを見ても、**火災原因の過半数を超える「約6割」が電気に起因**するものでした。



首都直下地震における火災での焼失棟数試算



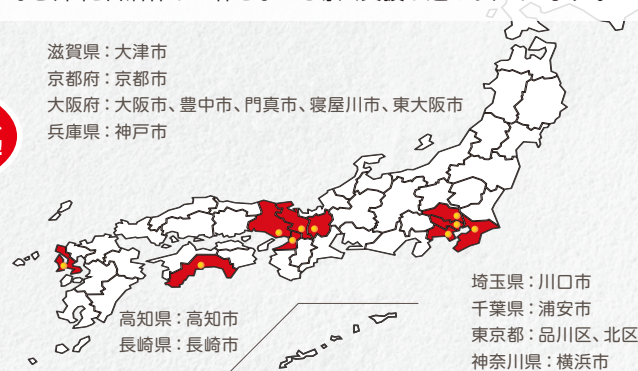
2035年に首都圏の緊急対策区域(都県)における感震ブレーカーの設置率: 100%を掲げ、首都直下地震における火災での焼失棟数を約268,000棟から約74,000棟へと「72%」も減少させることができると試算されています。

感震ブレーカの普及で、火災被害を劇的に削減!

南海トラフ巨大地震の対策においても、
国は今後10年間で建物の全壊焼失棟数を「おおむね5割減少」させるという強力な減災目標を掲げており、その達成に向けて感震ブレーカーの設置が強く推奨されています。

国が設置を強力推進する「重点エリア」をご存じですか?

大規模地震での被害を最小限に抑えるため、政府は「著しく危険な密集市街地」を抱える全国15市区において、感震ブレーカー設置目標100%達成を掲げて強力な推進対策を行っています。東京都をはじめ対象地域では、自治体の設置補助金制度や内線規程での【勧告】など、国と自治体が一体となった導入支援が進められています。

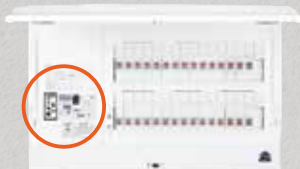


感震ブレーカーの主な種類

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカを切って電気を遮断します。

費用: 約5~8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要



分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカが設置されている場合に設置可能

費用: 約2~5万円程度
※電気工事が必要



感震ブレーカー

地震の揺れを感知し
ブレーカーを自動でOFF



日東工業 感震ブレーカー

検索



新設用

感震機能付主幹ブレーカ



あらゆる既設のホーム分電盤に
後付けできます! リフォームに最適です

既設用



機能追加ユニット
MGユニット



既設ホーム分電盤

業界初

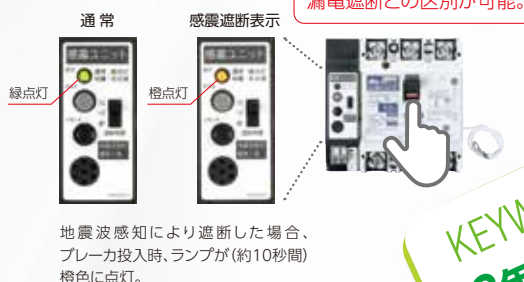
1. 感震機能をブレーカーに搭載
2. 地震波感知のお知らせ表示

機能
アップ

3. 遮断時間の切替が可能
4. 感震センサーに3軸加速度センサーを採用

※

※当社従来品比較



ご自宅の分電盤、**13年**以上経っていませんか?
補助金を活用して **感震ブレーカー** を導入ができます

分電盤の
交換目安(寿命)は
「約13年」

一般社団法人日本電機工業会の調査によると、**住宅用分電盤(ブレーカ)**の寿命および取り換え推奨時期は「**製造後約13年**」とされています。ご自宅の分電盤が古くなっている場合、新築やリフォームのタイミングは、最新の感震機能付きホーム分電盤へ交換する最大のチャンスです。

感震ブレーカー設置補助金・支援制度の一例(東京都)

自治体により補助の内容は異なりますので、詳しくは各自治体のホームページなどをご確認ください。

自治体名	補助率	補助上限額	種 類	求める性能
東京都	購入費用の 1/2	最大 3万円	分電盤タイプ (内蔵型)	(一社)日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤(JWDS0007付2)の規格で定める構造及び機能を有するもの



見本

「住宅事業者への感震ブレーカー購入費補助金」(東京都防災ホームページ) (<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1028034/1030547/index.html>) (更新日 令和8年4月1日) を基に加工して作成

2026年8月発行

●本書からの無断転載は固くお断りいたします。 ●価格・仕様などお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。 ●記載されている会社名、製品名、システム名は各社の商標または登録商標です。 ●本製品の故障や瑕疵により、弊社の予見の有無を問わず生じた二次損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。